

患者様とご家族の方のお知らせ

「当院の急変前徴候に関する研究」へのご協力依頼

目的：当院で急変した入院患者に対し早期警告スコア(NEWS)を用いて急変前徴候の有無を把握し早期発見に対する課題はないかを検証することで看護ケア(早期介入)が行なえないかを検討します。

なお、本研究は中津市立中津市民病院の倫理・治験審査委員会での承認を得て、中津市立中津市民病院病院長の許可を得ています。

研究場所：中津市立中津市民病院 HCU病棟。

研究時期：倫理審査委員会承認後より令和6年2月28日まで。

研究対象：令和2年4月～令和4年2月の当院でのハリーコールのうち救急外来・緊急帝王切開を除くすべての患者様

※ハリーコールとは、院内心停止や予期せぬ急変時に救命を第一優先とし病院全体で対応するシステムのことをいう。

研究方法：院内急変した患者様の急変前の徴候の有無を確認し統計にて分析します。

なお、この研究のために、患者さんの診療記録（情報：下記※1参照）を調べさせていただくこともあります。

※1 通常の診療で行われた治療や看護内容等

患者さんの試料および診療情報は、国の定めた「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に従い、匿名化したうえで管理しますので、患者さんのプライバシーは厳密に守られます。当然のことながら、個人情報保護法などの法律を遵守いたします。

本研究で得たデータの全ては鍵のかかる部屋で保管します。電子媒体を保存する場合はパスワード機能の付いたUSBやパソコンで保管します。連結可能匿名化した場合、その個人情報はメール等で院外に持ち出しません。また、研究終了後3年後に紙媒体はシュレッダーで、電子データは完全削除します。

【外部への試料・情報の提供】

なし

【患者さんの費用負担等について】

本研究を実施するに当たって、患者さんの費用負担はありません。また、本研究の成果が将来薬物などの開発につながり、利益が生まれる可能性があります。が、万一、利益が生まれた場合、患者さんにはそれを請求することはできません。

【利益相反について】

この研究は、上記の公的な資金を用いて行われ、特定の企業からの資金は一切使いません。「利益相反」とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭および個人を含みますが、本研究ではこの「利益相反（資金提供者の意向が研究に影響すること）は発生しません。

【研究の参加等について】

本研究へ試料および診療情報を提供するかしないかは患者さんご自身の自由です。従いまして、本研究に試料・診療情報を使用してほしくない場合は、遠慮なくお知らせ下さい。その場合は、患者さんの試料・診療情報は研究対象から除外いたします。また、ご協力いただけない場合でも、患者さんの不利益になることは一切ありません。患者さんの試料・診療情報を使用してほしくない場合、その他、本研究に関して質問などがありましたら、研究代表者（中津市立中津市民病院 HCU病棟）の大新田までお問い合わせ下さい。0979-22-2480（病院代表）：平日9時-17時。

令和5年5月2日
中津市立中津市民病院
HCU病棟看護師
氏名 大新田 ゆうき
粉 弥加
木村 美智子